

九州エリア^{※1}で地域産材の利用を推進 ～ツーバイフォー工法の構造材に活用～

三井ホーム株式会社（本社：東京都新宿区、社長：市川俊英）は、平成30年2月以降の受注物件から、九州エリア^{※1}の施工物件で地元九州産の木材利用を推進していくことをお知らせいたします。主な使用部位は構造用壁を構成する縦枠部（たて枠材でスタッドとよばれる）となります。



地元九州産材使用の上棟現場写真



地元九州産材 構造材（スタッド）

従来、弊社の採用しているツーバイフォー工法（枠組壁工法）においては、構造材はカナダを主体とした輸入材がそのほとんどを占めておりました。それが2015年の国産材の「枠組壁工法構造用製材 JAS 規格」の改正や同工法用 JAS 製材工場の整備等が進んだことにより国産材利用がしやすくなりました。

当社グループはこれまでも、熊本県と鹿児島県において戸建注文住宅や施設系建築物を中心にお客様のご要望に応じ、地元県産材の利用を進めてまいりましたが、九州施工エリア全域^{※1}において一定の品質を有する JAS 製材が安定的に調達できることが確認できたことから、同エリアで施工する戸建住宅及び施設系建築物において、お客様のニーズに応じて地域産材の利用を推進する運びとなりました。

九州エリアの森林は戦後の拡大造林政策によって植林された人工林が良質な木材としての収穫期を迎えています。今後の森林維持のためにも適切な伐採と継続的な植林・育成のサイクルを円滑に回していくことが必要とされています。そのためには地域産材の利用促進が必要であり、より一層の消費拡大が求められています。

当社は今後も地域産材使用の可能性を拡げ、環境に優しい持続可能な家づくりと地域の活性化に努めてまいります。

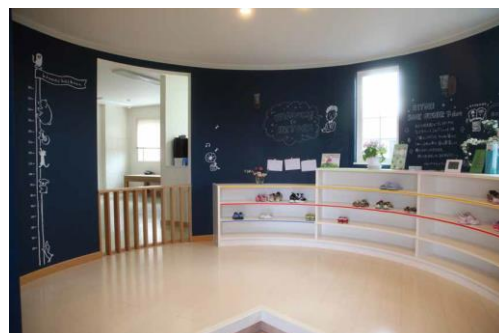
※1、離島を除く九州全県

三井ホーム（株）九州支店施工エリア（福岡県・大分県・佐賀県・熊本県・長崎県）

三井ホーム鹿児島（株）施工エリア（鹿児島県・宮崎県）

現在九州エリアでは、三井ホーム株式会社九州支店と三井ホーム鹿児島株式会社が施工を行っています。

<参考> 国産材を使用した当社建築物の事例（九州）




鹿児島県産材を用いた鹿児島県「ひより保育園」
延床面積 718.59㎡（217.37坪）
三井ホーム鹿児島（株）施工 2017年築




熊本県産材を使用した個人宅上棟写真

以上

「&EARTH」ロゴについて

三井不動産グループでは、グループのロゴである「（アンド）」マークに象徴される「共生・共存」、「多様な価値観の連繋」の理念のもと、グループビジョンに「&EARTH（アンド・アース）」を掲げ、当社グループのまちづくりが常に地球とともにあることを認識し、人と地球がともに豊かになる社会をめざしています。

「（アンド）」マークの理念とは、これまでの社会の中で対立的に考えられ、とらえられてきた「都市と自然」「経済と文化」「働くことと学ぶこと」といった概念を、「あれかこれか」という「or」の形ではなく、「あれもこれも」という形で共生・共存させ、価値観の相克を乗り越えて新たな価値観を創出していくもので、平成3年4月に制定されました。

*この資料は、次の各記者クラブにお届けしております。

○ 福岡経済記者倶楽部

本件に関するお問い合わせ先
三井ホーム株式会社 広報部 広報グループ
高根・清宮 電話 03-3346-4649